

第63回岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

1 日時：令和4年10月26日（水） 15時30分～16時

2 場所：本庁3階 第三会議室

3 出席者：資料席次表参照

4 議事概要

[市長]

これから第63回となる本部会議を開催する。

本日の新規感染者は350人。依然として毎日2～3百人規模の新規感染が発生している。今年の冬は、季節性インフルエンザの流行も懸念される所。

今後の対応について協議をしたい。担当局からの報告をお願いする。

(1) 新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

・感染者の推移

岡山市で初めて感染者が確認された令和2年3月以降の状況を見ると、これまでも、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆など、人流が増加する時期に感染の拡大が見られたことがわかる。

本日の陽性者は350人。週間平均の感染者は243.4人。第7波のピークアウト後、10月10日を境に増加に転じていたが、現状では、下げ止まりの状況と考えている。

・1週間毎の感染者の内訳

9月26日以降の全数報告の見直しに伴い、岡山市保健所への発生届の対象者は、65歳以上の方、入院が必要な方、重症化リスクがあり治療薬の投与が必要な方、妊婦に限られている。

発生届の対象となるのは全体の感染者の約15%程度となっている。医療機関から陽性者の年代別総数の報告があるため、全体の感染状況と年代の内訳を把握している。

これまでと同様、年少者の割合が高く、高齢者の割合が低い状況。

[保健所長]

10月11日を境に下げ止まった状況が続いている。政府のアドバイザリーボードにおいて、全都道府県で患者の報告数の増加を受けて、第8波の入り口というコメントが付いていたが、その後の増加状況については、岡山市の場合、1週間単位では増加傾向であるが、7日移動平均では、10月18日を一旦ピークとして減少に転じており、従来の第7波や第6波のような単調増加を呈してはいないので、まだ第8波入口であると判断する状況ではない。

合わせてインフルエンザについては、岡山市においては新規の報告は出ていない。

今のところ、新型コロナウイルス感染症についても明らかな増加の波は観察できない。インフルエンザについても流行初期という状況にはないと判断している。

[感染症対策担当局長]

・クラスターの発生状況

第7波のピークアウト後も、高齢者施設等では引き続きクラスターが発生している。

・高齢者施設等の検査の継続について

これまで、高齢者施設等、重症化リスクの高い方が多く存在する施設に抗原検査キットを配布し、従業員の方への概ね1週間に1回の定期検査や、発熱者がいた場合の柔軟な検査をお願いしてきた。

11月以降、対象施設をさらに拡大し、検査キットを配布する。また、従業員の方への定期検査の頻度を1週間に2回に増やすとともに、引き続き、発熱者がいた場合の柔軟な検査をお願いしたい。

・新型コロナに関する相談体制の強化

これまで、新型コロナに関する相談窓口を一元化して対応してきたが、9月26日以降の全数把握の見直しにより、相談者は、陽性診断された方、発生届の対象者、対象外の方、一般の方などが混在する状況となっていた。また、第7波のピーク時には、陽性者であっても電話がつながり難い状況があった。

そこで、今後の感染拡大に備え、陽性者からの相談と陽性者以外の方からの相談の電話番号を分けることで、スムーズな対応を図ることとした。

11月1日以降、陽性者の方は、自宅療養サポートセンターにお問い合わせいただくようになる。陽性者の方には、検査医療機関で配布するチラシで連絡先を案内することとしている。また、感染状況にあわせ、今後、対応人員や電話回線を増やすことも想定している。

・新型コロナとインフルエンザの同時流行を見据えた呼びかけ

年末年始など人流が活発になる時期は、再び陽性者が増えることが予想される。国の専門家会議においても、この冬は、新型コロナと季節性インフルエンザが同時に流行する可能性が示唆されている。同時に流行した場合は、多くの発熱患者が発生するため、発熱外来など医療機関がひっ迫し、すみやかに受診できなくなることも想定される。

そこで、感染が落ち着いている今の時点から、自宅で検査できる抗原検査キットや、解熱鎮痛薬をあらかじめ買っておくなど、事前の対応をお願いしたい。

また、新型コロナワクチンと季節性インフルエンザワクチンの同時接種も可能となっているので、ワクチン接種の予約時などに医療機関へご相談いただきたい。

・オミクロン株対応ワクチンの接種について

岡山市においては、初回接種を完了した12歳以上の方に、9月28日からBA.1型、10月24日からはBA.4-5型のワクチン接種を開始した。接種場所により取り扱っているワクチンは異なるが、この2種類のワクチンの効果、安全性について大きな差はないと

されており、いずれのワクチンも、従来型ワクチンを上回る効果が期待されている。

市として、できるだけ早く 12 歳以上の方がオミクロン株対応ワクチンを接種できる体制を整えているところ。

・追加接種に係る接種間隔の短縮に伴う対応について

国において、10 月 21 日から、3 回目以降の追加接種に係る接種間隔が従来の 5 か月から 3 か月に変更された。この変更を受け、従来型ワクチンで 4 回目を接種した方に順次 3 か月間隔で接種券をお送りする。

まずは 11 月 1 日に、5 月 26 日から 8 月 1 日までに接種した約 57,000 人の方に発送し、その後、毎週火曜日に順次発送することで、11 月末までに対象者のうち 74%の方、年内にはほぼ全員の方に、接種券をお届けできる。

接種券が届き次第、オミクロン株対応ワクチンの接種が可能となるので、早めの接種をお願いしたい。

なお、岡山市のオミクロン対応型ワクチンの確保状況は、BA.1 型も含めて、約 54 万人分で、接種を希望する方全員が接種できる量となっている。

これから接種券を送付するだけでなく、3, 4 回目の接種券をお持ちの方も、今後の感染拡大防止のためにも早めの接種をお願いする。

・ワクチンの接種場所について

これまでと同様市内約 400 の個別医療機関と集団接種会場。10、11 月の市集団接種会場では、ファイザー社の BA.4-5 対応型ワクチンを使用し、12 月以降は、ワクチンの在庫状況等によりワクチンの種類を決定する。

オミクロン株対応ワクチンの接種が可能な医療機関や、使用するワクチンなどの詳細については、市ホームページなどをご確認いただきたい。

・乳幼児ワクチン接種の開始について

生後 6 か月から 4 歳までの乳幼児の方が、新たに接種対象となる。使用するワクチンはファイザー製の従来型の乳幼児用専用ワクチンで、3 回接種して初回接種が完了する。

接種間隔は、1 回目と 2 回目の間が 3 週間、2 回目と 3 回目の間は 8 週間以上。

接種券は、11 月 8 日に対象者約 25,000 人に一括送付し、以降は生後 6 か月に達する日以降の毎週火曜日に発送する。

予約及び接種は、接種券が届き次第可能。予約方法は、インターネット、コールセンター、医療機関に直接電話のいずれか。

接種医療機関は小児科を中心とした 34 の医療機関で、11 月 2 日以降市ホームページに掲載予定。

乳幼児へのワクチン接種により、感染しても症状が出にくくなる。副反応についても、安全性に重大な懸念は認められていない。かかりつけの医師などにも相談のうえ、接種についてご検討をお願いする。副反応等でご不安な点があれば、「岡山県小児・幼児専門相談窓口」

があるので、ご活用いただきたい。

・市民の皆様へのお願い

年末年始の感染拡大に備えて、安心して年末年始を迎えるためにも、対象者の方は早めのオミクロン株対応ワクチンの接種をお願いします。12歳以上で初回接種（1・2回目）がまだの方は、年内に接種を完了することについてご検討をお願いします。

新型コロナ・インフルエンザの同時流行を見据えた対応をお願いします。

今後、感染拡大により発熱外来をすみやかに受診できない場合に備えて、新型コロナ抗原検査キットや、解熱鎮痛剤をあらかじめ買うなどの準備をお願いします。

新型コロナワクチンと季節性インフルエンザワクチンは、同時接種が可能。インフルエンザワクチンについても接種のご検討をお願いします。

最後に、基本的感染対策の再点検と徹底だが、場面に応じた不織布マスクの正しい着用、手指衛生、換気の徹底などの継続をお願いします。

再拡大を防ぐためには、日常生活の中で、ひとりひとりが自主的な感染予防行動を徹底することが必要なので、引き続きよろしくをお願いします。

[市長]

高齢者施設等の検査の継続について。対象を拡大するというのは、通所施設 869 を 1,500 に拡大することだと思うが、もう1つ、検査を概ね1週間に1回というのを2回にするというのは、検査の更なる充実を図るという意味か。

[感染症対策担当局長]

国もアドバイザリーボードなどで頻回検査を進めているので、できれば1週間に2回程度の計算で検査キットを配ろうと考えている。

[市長]

高齢者入所施設等に通知するのか。

[感染症対策担当局長]

従業員の数を市で把握しているので、その人数に合わせてこちらから送ろうと考えている。

[市長]

保健所長、付け加えることはあるか。

[保健所長]

個人防護が感染拡大時に不可欠。マスクの着用が不要という議論もあるが、今後感染拡大が起こった際には、室内、特に人との接触が多い場面では、マスクが確実な予防方法の1つなので、今後もぜひ引き続きご協力いただきたい。

5 本部長まとめ

感染状況であるが、日々2～3百人程度の新規感染者が発生しているものの、現時点では、単調に増加している状況ではなく、下げ止まりの状況と判断している。

これまで、コロナに関する問い合わせは「受診相談センター」で一括して受けていたが、第7波ピーク時には、電話が集中し、陽性者の方からの電話がつながりにくい状況となった。これを踏まえ、次の感染拡大にスムーズに対応できるよう、新たに陽性者の相談用の電話番号を設けることとした。

11月1日から、陽性者の方は、「新型コロナ自宅療養サポートセンター」086-230-0891に問い合わせいただきたい。

陽性者以外の方で発熱などの体調不良の場合には、従来通り受診相談センターへお問い合わせいただきたい。

ワクチン接種であるが、現在岡山市では、オミクロン対応のワクチン接種が可能となっている。オミクロン株対応型ワクチンには、従来型ワクチンを上回る効果が期待できる。

接種間隔が3か月に短縮されたことに伴い、従来型ワクチンで4回目接種をした方に対し、11月1日（火）から接種券を発送し、12月末までには、ほぼ全員の方に5回目の接種券をお届けできる予定。年末年始の感染拡大に備えて、接種券が届き次第接種をお願いする。

すでに、3、4回目の接種券をお持ちで、オミクロン株対応型ワクチンの接種が済んでいない方は、その接種券で予約・接種が可能なの

で、速やかな接種をお願いする。

また1・2回目接種がまだ済んでいない方も、早期の接種をお願いする。

乳幼児のワクチンの接種については、接種券を11月8日（火）に一括発送する。対象は生後6か月から4歳の25,000人。接種券が届き次第、市内34の医療機関で予約及び接種が可能になる。

ワクチン接種によって、感染しても発症しにくくなる効果が認められ、また副反応についても、重大な懸念は認められていない。医学的な相談の窓口も整備されているので、かかりつけ医等ともよく相談のうえ、接種について検討していただきたい。

国の専門家会議では、この冬、新型コロナと季節性インフルエンザが同時に流行する可能性が示唆されている。新型コロナワクチンと季節性インフルエンザワクチンの同時接種が可能な医療機関もあるので、各医療機関へご相談いただければと思う。

第63回岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和4年10月26日（水）

15時30分～16時

場 所：本庁3階 第三会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

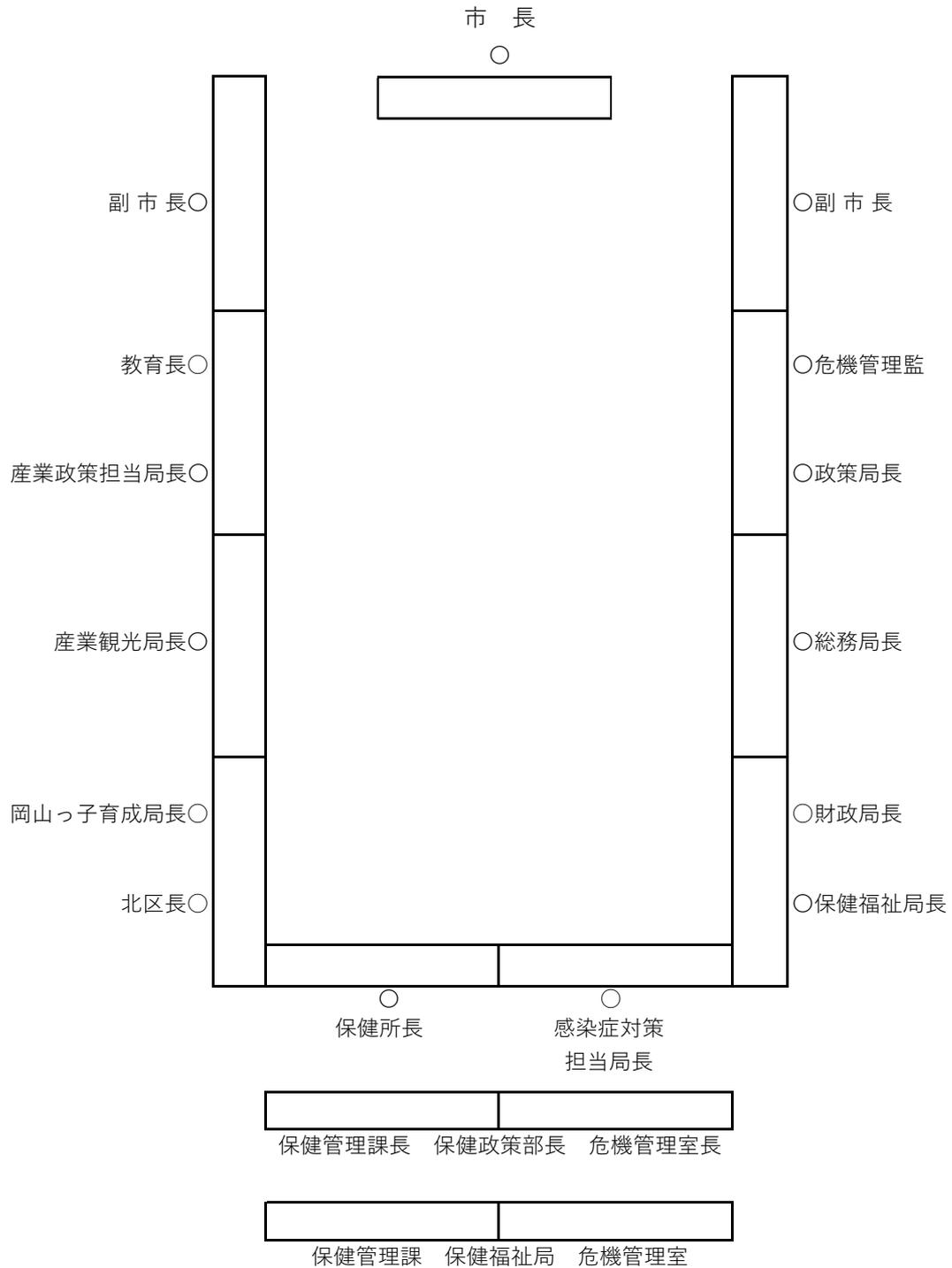
（1）現時点における対応状況等について担当局から報告

① 保健福祉局

（2）その他

3 閉 会

第63回 岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議
配席図（R4.10.26）



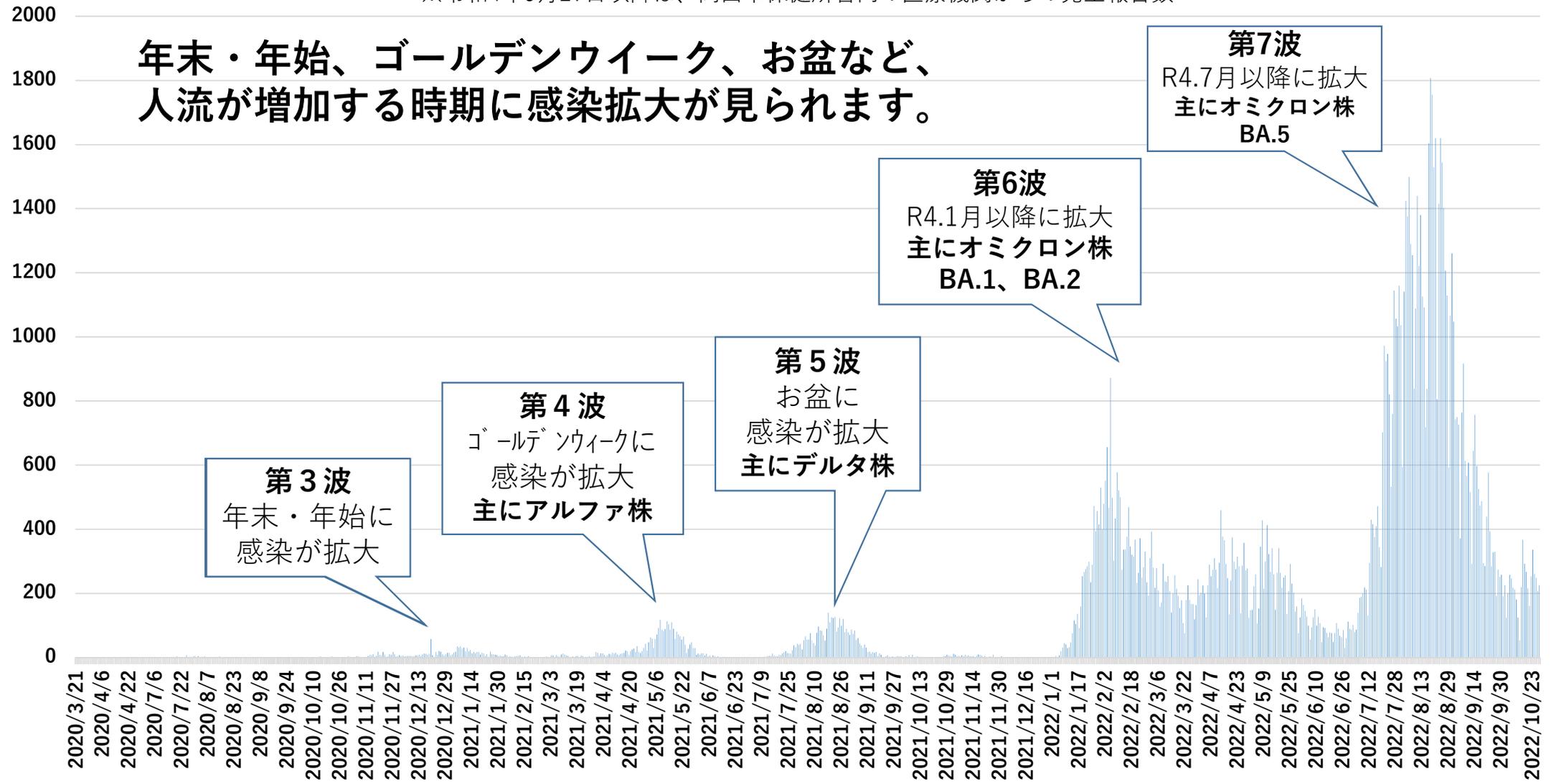
(報 道)

これまでの感染者の推移 <発表日別> R4.10.23発表分まで

※令和4年9月27日以降は、岡山市保健所管内の医療機関からの発生報告数

令和4年10月25日
第63回新型コロナウイルス
感染症対策本部会議資料
保健福祉局

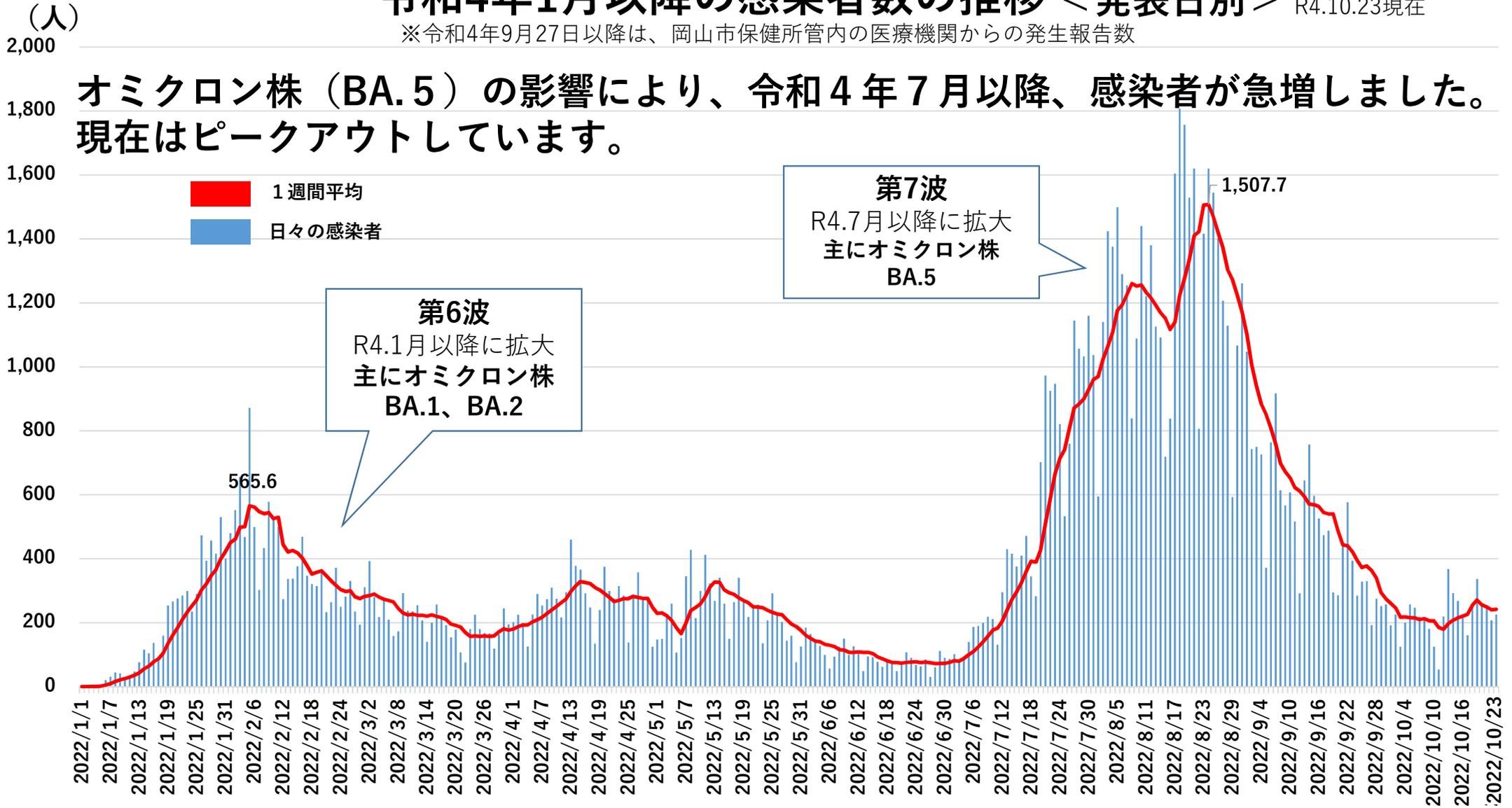
年末・年始、ゴールデンウィーク、お盆など、
人流が増加する時期に感染拡大が見られます。



令和4年1月以降の感染者数の推移 <発表日別> R4.10.23現在

※令和4年9月27日以降は、岡山市保健所管内の医療機関からの発生報告数

オミクロン株（BA.5）の影響により、令和4年7月以降、感染者が急増しました。現在はピークアウトしています。



1週間毎の感染者の内訳

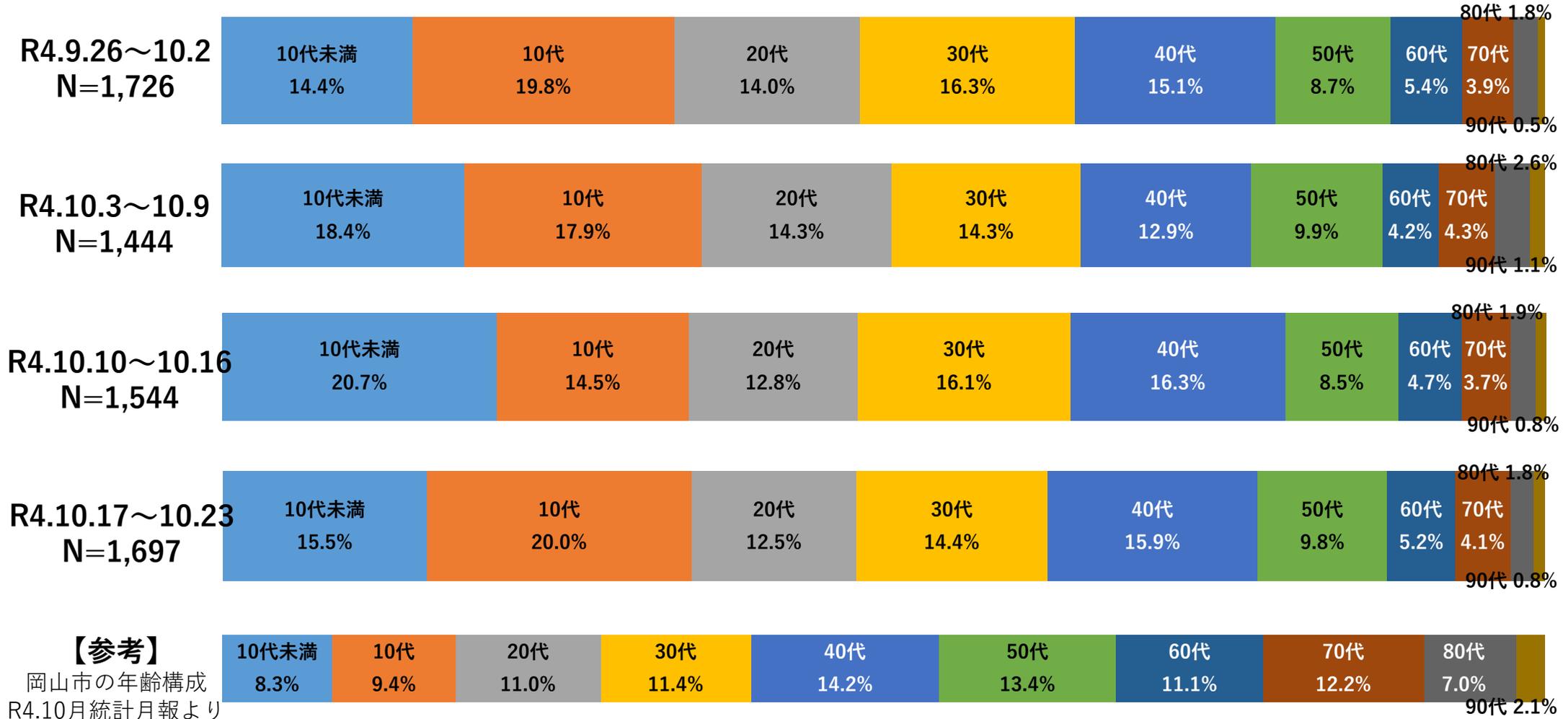
	発表者数 A(B+C)	発生届 対象者※ B	発生届 対象外 C
9/26-10/2	1,726	524 9/26(303人)は全員 発生届対象者のため	1,202
10/3-10/9	1,444	197	1,247
10/10-10/16	1,544	195	1,349
10/17-10/23	1,697	232	1,465

※発生届対象者 ①65歳以上の方 ②入院が必要な方 ③重症化リスクがあり治療薬の投与が必要な方等 ④妊婦

1週間毎の感染者の年代の比較

※令和4年9月27日以降は、岡山市保健所管内の医療機関からの発生報告数

年少者の割合が高く、高齢者の割合が低くなっています。



直近1ヶ月のクラスターの発生状況

R4.10.23現在

区分	9/26~10/2	10/3~10/9	10/10~10/16	10/17~10/23	合計
高齢者・介護施設	4	3	3	2	12
保育幼児関係					0
学校関係					0
会社・事業所など				1	1
医療機関	1	2	2	1	6
飲食店					0
合計	5	5	5	4	19

高齢者施設等の検査の継続について

現在実施している定期的検査等の対象を拡大し、継続して実施する

【これまで】

対 象：高齢者**入所・通所**施設（**869施設**）の従業員及び施設入所者
障害者**入所**施設（**15施設**）の従業員及び施設入所者

検査方法：概ね1週間に**1回**の従業員への定期検査、及び従業員に発熱等の症状が発生した場合等、速やかに検査するための抗原検査キットを事前に配布



【11月以降】

対 象：高齢者**入所・通所・訪問**施設（約**1,500施設**）に**拡大**
障害者**入所・通所・訪問**施設（約**1,300施設**）に**拡大**

検査方法：概ね1週間に**2回**の従業員への定期検査、及び従業員に発熱等の症状が発生した場合等、速やかに検査するための抗原検査キットを事前に配布

新型コロナ相談体制の強化について

- 従来、「岡山市新型コロナウイルス受診相談センター」に相談窓口を一元化して対応
- 全数把握の見直しにより、相談者は、陽性診断された者、届出対象の者、診断されていない者などが混在
⇒ 相談窓口での対応に時間がかかっている

 今後の感染拡大に備え、陽性者とその他の方の相談窓口を分けることで、スムーズな対応を図る。

名称	利用者	人員	電話回線数	業務内容
受診相談センター 086-803-1360	<u>陽性者</u> <u>体調不良の方</u> など	14人 (最大25人)	14回線 (最大25回線)	①症状・受診先の相談 ②濃厚接触者の相談 ③自宅療養者の健康相談 ④宿泊療養、配食相談 など



令和4年11月1日以降

名称	利用者	人員	電話回線数	業務内容
受診相談センター 086-803-1360	<u>体調不良の方</u> など ※ <u>陽性者は除く</u>	7人 (最大10人)	7回線 (最大10回線)	①症状・受診先の相談 ②濃厚接触者からの相談 など
<u>新型コロナ自宅療養</u> <u>サポートセンター</u> 086-230-0891 (24時間対応)	<u>陽性者</u>	7人 (最大23人)	7回線 (最大20回線)	①症状・受診先の相談 ②濃厚接触者に関する相談 ③健康相談(受診先の相談) ④宿泊療養、配食相談 など

新型コロナ・インフルエンザの同時流行を見据えた 感染状況に応じた国民の皆様への呼びかけ

第103回（令和4年10月20日）
新型コロナウイルス感染症対策
アドバイザリーボード
事務局提出資料
参考資料3
令和4年10月18日公表資料

感染が落ち着いている状況	感染者の増加が見られ同時流行 （又は新型コロナ／インフルの感染拡大）の兆し が見える状況	同時流行（又は新型コロナ／インフルの感染拡大） により医療のひっ迫が懸念される状況
--------------	--	--

[コミュニケーションの狙い] 事前準備の促進： > ワクチン接種の勧奨 > 検査キット・解熱鎮痛剤の購入	[コミュニケーションの狙い] 重症化リスク別の行動喚起： > 高リスク者：速やかな受診 > 低リスク者：自己検査・自宅療養	[コミュニケーションの狙い] 重症化リスク別の行動喚起徹底： > 高リスク者：速やかな受診 > 低リスク者：自己検査・自宅療養
[提供情報のポイント] > これまでにない感染規模の想定 > 医療ひっ迫のリスク	[情報提供のポイント] > 重症化リスクが低い方は速やかな 自宅療養を案内、発熱外来は高齢 者等の重症化リスクが高い方を案 内	[情報提供のポイント] > 発熱外来は高齢者等の重症化リス クが高い方へ重点的に対応
[具体的なメッセージ] <ul style="list-style-type: none"> ・この冬は新型コロナウイルス感染症が今夏以上に拡大し季節性インフルエンザと同時に流行する可能性があります。 ・発熱外来をすみやかに受診できない場合にそなえてご自身で感染確認に必要な新型コロナ抗原検査キットや、自宅療養に必要な解熱鎮痛薬を、あらかじめ買っておきましょう。 	[具体的なメッセージ] <ul style="list-style-type: none"> ・同時流行（又は感染急拡大）の兆しが見られます。 ・高齢者・基礎疾患を有する方・妊婦・子ども等の皆様は症状があれば速やかに発熱外来を受診しましょう。 ・若い方は感染しても重症化して入院する割合は低くなっています。自己検査で陽性だった時は、健康フォローアップセンターの活用にご協力ください。 	[具体的なメッセージ] <より強い呼びかけを実施> <ul style="list-style-type: none"> ・同時流行（又は感染急拡大）により医療機関が速やかに受診出来ない状況が発生しています。 ・重症化リスクの高い方を守るため、左記の対応に一層の御協力をお願いします。ただし、我慢しすぎて重症化することも懸念されます。体調変化時など迷った時は、相談窓口に躊躇無くご相談下さい。 ※受診・相談センター、#7119 （救急要請相談）、#8000 （こども医療相談）など相談先を再周知
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチンの早期接種をお願いいたします。 ・季節性インフルエンザワクチンについては、65歳以上の方等の定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチンの早期接種をお願いいたします。 ・季節性インフルエンザワクチンについては、65歳以上の方等の定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。 	

[発信方法や主なターゲット]

- 関係者が連携しながらワンボイスで、全国・地域の感染状況やターゲットに応じた情報発信を行う。
 - ・高齢者に対しては、マスメディア等を通じて、情報を発信を行う。
 - ・若年層に向けた情報発信はWEBメディア等を活用する。

関係団体（医療）	⇒	医療関係者・患者
経済団体	⇒	経営者・従業員
学会（アカデミア）	⇒	国民
政府	⇒	国民
地方行政	⇒	住民

岡山市のオミクロン対応ワクチン接種について

- (1) 開始日：(BA.1型) 9月28日(水) 接種開始
(BA.4-5型) 10月24日(月) 以降順次接種開始
- (2) 接種対象者：初回接種(1・2回目)を完了した12歳以上の全ての住民
- (3) 接種場所：個別医療機関及び集団接種会場

オミクロン株対応ワクチン (BA.1型)・(BA.4-5型) について

○使用可能なオミクロン株対応ワクチン (国承認)

- ・9月20日～ ファイザー社 オミクロン株 (BA.1型) 対応ワクチン、モデルナ社 オミクロン株 (BA.1型) 対応ワクチン
- ・10月13日～ ファイザー社 オミクロン株(BA.4-5型) 対応ワクチン

○BA.1対応ワクチンとBA.4-5 対応ワクチンの違い

オミクロン株BA.1とオミクロン株BA.4-5はいずれもオミクロン株の種類 (亜系統) であり、差は大きくないことが示唆

⇒ワクチンの効果、安全性についても大きな差はないとされている

○オミクロン株対応ワクチンの効果

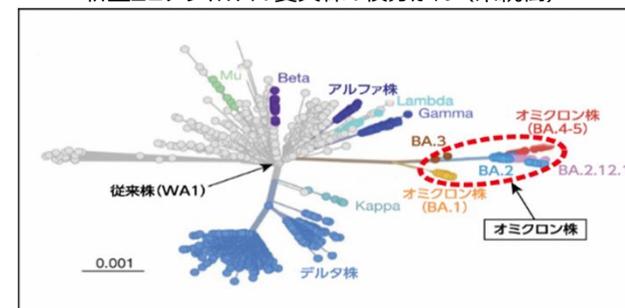
- ・オミクロン株対応ワクチンは、**オミクロン株の種類 (BA.1とBA.4-5) に関わらず、オミクロン株成分を含むことで、現在の流行状況では従来型ワクチンを上回る効果があることが期待**
- ・オミクロン株と従来株の2種類の成分が含まれることで、**今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いことが期待**

⇒2種類の2価ワクチン (BA.1対応型/BA.4-5対応型) はいずれも従来型ワクチンを上回る効果を期待

○オミクロン株対応ワクチンの副反応

- ・**いずれのワクチンも従来型ワクチンと概ね同様の症状で、重大な懸念は認められないと判断されている**

新型コロナウイルスの変異株の枝分かれ (系統樹)



(※) 出典をもとに改変

出典：Wang, Q., Guo, Y., Iketani, S. et al. Antibody evasion by SARS-CoV-2 Omicron subvariants BA.2.12.1, BA.4 and BA.5. Nature 608, 603-608 (2022).

追加接種（3～5回目）の接種間隔の短縮等について

接種間隔の短縮について

【10月21日以降】

（変更前）12歳以上の者 前回接種完了から5か月以上 ⇒ （変更後）**3か月以上**
 ※5～11歳向けの小児用ワクチンの追加接種は、従来通り5か月間隔を維持

接種間隔短縮による効果及び接種券発送時期等

○ **4回目接種済者のほぼ全員が年末年始までにオミクロン株対応ワクチンの接種が可能**

→ 11月末までに、4回目接種済者のうち約74%の方に接種券送付
 12月末までに、4回目接種済者のうち約98%の方に接種券送付

（参考）接種間隔3か月での接種券発送スケジュール

4回目接種時期	5回目接種券送付時期	60歳以上	12歳以上 59歳以下
令和4年5月26日～8月1日	令和4年11月1日（火）	53,124人	3,871人
令和4年8月2日～8日	令和4年11月8日（火）	20,139人	4,034人
令和4年8月9日～15日	令和4年11月15日（火）	9,985人	3,637人
令和4年8月16日～22日	令和4年11月22日（火）	17,112人	3,792人
令和4年8月23日～29日	令和4年11月29日（火）	16,023人	4,073人
令和4年8月30日～9月6日	令和4年12月6日（火）	14,117人	3,268人

4回目接種時期	5回目接種券送付時期	60歳以上	12歳以上 59歳以下
令和4年9月7日～13日	令和4年12月13日（火）	10,110人	3,035人
令和4年9月14日～20日	令和4年12月20日（火）	6,254人	2,075人
令和4年9月21日～27日	令和4年12月27日（火）	3,502人	1,263人
令和4年9月28日～10月3日	令和5年1月3日（火）	1,530人	633人
令和4年10月4日～10日	令和5年1月10日（火）	320人	218人

※R5.1.10以降も毎週火曜日に発送

○ **接種券が届き次第、予約・接種が可能**

※予約は、県共通予約システム（インターネット予約）、岡山市コールセンター（TEL0120-780-910）もしくは、各医療機関へ直接予約

岡山市へのオミクロン株対応ワクチン供給量

○ オミクロン株対応ワクチンの接種を希望する人全員が接種できる量のワクチンの供給あり（オミクロン株（BA1対応）型ワクチンを含む）

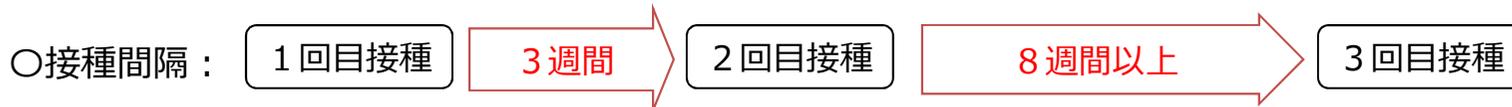
	ファイザー社ワクチン（BA.1）	ファイザー社ワクチン（BA.4-5）	モデルナ社ワクチン（BA.1）
使用開始時期	9月28日～	10月24日～	10月1日～
小計	149,154回分	345,258回分	48,750回分
合計	543,162回分		

※オミクロン対応ワクチン3～5回目の接種対象者 543,875人

乳幼児（6か月～4歳用）へのワクチン接種の開始について

接種対象者及び使用するワクチン

- 接種対象：**乳幼児（6か月～4歳）**
- 使用するワクチン及び接種回数：ファイザー社製の乳幼児用ワクチン（従来型）で、**合計3回接種して初回接種が完了**



効果・安全性

【効果】新型コロナに感染しても**症状が出にくくなる（3回目接種後7日以降の発症予防効果が73.2%）**

【安全性（副反応）】

- 臨床試験では、このワクチンと対照薬を接種した後の症状やその起こりやすさを比較したところ、大きな差はなし
- 各接種回ごとに現れた症状（機嫌の悪さ、疼痛、疲労など）の種類と発現割合はあまり変わらず、ほとんどの症状が軽度または中等度
→**安全性に重大な懸念は認められていない**

【努力義務の適用】

オミクロン株流行期において、20歳未満の重症・中等症の患者のうち、5歳未満が6割を占めたことなどと、乳幼児ワクチンの効果及び安全性に関する情報を踏まえ、**接種努力義務を適用**

接種券・発送時期

- 接種対象者約25,000人に対して、**11月8日（火）に一括発送** ※今後、生後6か月に達する者の接種券は、毎週火曜日に発送

接種開始時期・接種医療機関

○**接種券が届き次第、予約・接種が可能**

※予約は、県共通予約システム（インターネット予約）、岡山市コールセンター（TEL0120-780-910）

もしくは、各医療機関へ直接予約

- 小児科を中心に34の医療機関で接種実施** ※接種医療機関一覧は、11月2日（水）市ホームページに掲載予定

接種についての相談窓口等

接種についての相談は、かかりつけの医師や、「**岡山県小児・幼児専門相談窓口（TEL0120-245-061）**」へ

市民の皆さんへのお願い

- **年末年始の感染拡大に備えてワクチン接種をお願いします。**
 - ・安心して年始を迎えるためにも、対象者の方は早めのオミクロン株対応ワクチンの接種をお願いします。
 - ・12歳以上で初回接種（1・2回目）がまだの方は、年内に接種を完了することについてご検討をお願いします。
- **新型コロナ・インフルエンザの同時流行を見据えた対応をお願いします。**
 - ・発熱外来をすみやかに受診できない場合に備えて、新型コロナ抗原検査キットや、解熱鎮痛剤をあらかじめ買っておきましょう。
 - ・新型コロナワクチンと季節性インフルエンザワクチンの同時接種が可能です。ワクチン接種の予約時等、医療機関にご相談ください。
- **基本的感染対策の再点検と徹底**
 - ・場面に応じた不織布マスクの正しい着用、手指衛生、換気の徹底などの継続をお願いします。
 - ・3密や混雑、大声を出すような感染リスクの高い場面を避け、飲食はできるだけ少人数で、飲食時以外はマスクを着用しましょう。
 - ・咽頭痛、咳、発熱などの症状がある場合は外出を控えましょう。

【参考】新型コロナワクチン接種数（1・2回目実績）について

新型コロナワクチン接種数（1・2回目実績）について

令和4年10月25日時点入力済み数値（保健管理課集計）

区 分	①対象者数 (人口)	②1回目 接種回数	対人口進捗率 =②/①	③2回目 接種回数	対人口進捗率 =③/①
【高 齢 者】 65歳以上	188,000人	175,425人	93.3%	174,917人	93.0%
60歳以上65歳未満	39,000人	35,594人	91.3%	35,526人	91.1%
50歳以上60歳未満	92,000人	80,219人	87.2%	79,972人	86.9%
40歳以上50歳未満	102,000人	86,799人	85.1%	86,442人	84.7%
30歳以上40歳未満	81,000人	65,871人	81.3%	65,467人	80.8%
20歳以上30歳未満	77,000人	62,290人	80.9%	61,686人	80.1%
12歳以上20歳未満	53,000人	40,413人	76.3%	40,058人	75.6%
5歳以上12歳未満	45,000人	9,373人	20.8%	8,931人	19.8%
合 計	677,000人	555,984人	82.1%	552,999人	81.7%
【5歳未満を含む全人口に対する接種率】	705,000人	555,984人	78.9%	552,999人	78.4%

1 接種回数の数値はワクチン接種記録システム（VRS）のデータによる

2 対象者数はR4.1.1時点の住基人口、年齢区分はR4.1.1時点の年齢による。なお、対象外の5歳未満は28,000人

【参考】新型コロナワクチン接種数（3回目実績）について

新型コロナワクチン接種数（3回目実績）について

令和4年10月25日時点入力済み数値（保健管理課集計）

区 分	①対象者数 (人口)	②対象者数 (接種券送付済者)	③3回目接種回数	対人口進捗率 =③/①	対接種券送付者進 捗率=③/②
【高 齢 者】 65歳以上	188,000人	174,725人	167,517人	89.1%	95.9%
60歳以上65歳未満	39,000人	35,455人	32,837人	84.2%	92.6%
50歳以上60歳未満	92,000人	80,021人	68,104人	74.0%	85.1%
40歳以上50歳未満	102,000人	86,669人	64,976人	63.7%	75.0%
30歳以上40歳未満	81,000人	65,644人	43,872人	54.2%	66.8%
20歳以上30歳未満	77,000人	62,751人	39,274人	51.0%	62.6%
12歳以上20歳未満	53,000人	39,856人	22,499人	42.5%	56.5%
5歳以上12歳未満	45,000人	5,507人	1,157人	2.6%	21.0%
合 計	677,000人	550,628人	440,236人	65.0%	80.0%
【5歳未満を含む全人口に対する接種率】	705,000人	-	440,236人	62.4%	-

1 接種回数の数値はワクチン接種記録システム（VRS）のデータによる

2 対象者数はR4.1.1時点の住基人口、年齢区分はR4.1.1時点の年齢による。なお、対象外の5歳未満は28,000人

【参考】新型コロナワクチン接種数（4回目実績）について

新型コロナワクチン接種数（4回目実績）について

令和4年10月25日時点入力済み数値（保健管理課集計）

区 分	①対象者数 (人口)	②対象者数 (接種券送付済者)	③4回目接種回数	対人口進捗率 =③/①	対接種券送付者進 捗率=③/②
【高 齢 者】 65歳以上	188,000人	163,323人	138,555人	73.7%	84.8%
60歳以上65歳未満	39,000人	30,913人	20,423人	52.4%	66.1%
50歳以上60歳未満	92,000人	59,333人	20,005人	21.7%	33.7%
40歳以上50歳未満	102,000人	52,576人	13,013人	12.8%	24.8%
30歳以上40歳未満	81,000人	31,398人	6,915人	8.5%	22.0%
20歳以上30歳未満	77,000人	28,040人	5,080人	6.6%	18.1%
12歳以上20歳未満	53,000人	9,478人	774人	1.5%	8.2%
合 計	632,000人	375,061人	204,765人	32.4%	54.6%
【12歳未満を含む全人口に対する接種率】	705,000人	-	204,765人	29.0%	-

1 接種回数の数値はワクチン接種記録システム（VRS）のデータによる

2 対象者数はR4.1.1時点の住基人口、年齢区分はR4.1.1時点の年齢による。なお、対象外の12歳未満は73,000人

3 12歳以上20歳未満の欄の①対象者数（人口）53,000人には、1・2回目接種対象者の12歳以上18歳未満も含んでいる。